

春

はる

サクラ

- 🌿 分類：バラ科サクラ属
- 🌍 原産：日本などの東アジア
- 🕒 開花期：おもに3～4月
(種によって10月～)

花言葉
精神の美、
優雅な女性



日本人が開花を心まちにする花といえばサクラで、『万葉集』の時代から人々に愛されてきました。サクラの名は、日本神話に登場する「木花開耶姫」の「サクヤ」からとられたという説があります。一気に咲いて散ることから「わびさび」を思わせるこの花には、「精神の美」という花言葉がつけられました。

コラム

もっともポピュラーなサクラの品種「ソメイヨシノ」

数百種もの品種があるとされるサクラのうち、もっとも代表的なのがソメイヨシノです。江戸時代末期から明治時代初期にかけてオオシマザクラとエドヒガンが、交配*されて生まれ、当初は「ヨシノザクラ」とよばれました。

*交配：ちがう種類の花をかけあわせて、別の品種をつくること。

ラナンキュラス

- 🌿 分類：キンポウゲ科キンポウゲ属
- 🌍 原産：ヨーロッパ南東部、地中海沿岸、西アジア
- 🔍 別名：ハナキンポウゲ(花金鳳花)
- 🕒 開花期：3～5月



ラナンキュラスの名は、ラテン語でカエルを意味する「ラナ」に由来します。原種が湿地をこのむことと、葉がカエルの足に見えることにちなみます。いくつもかさなる花びらが、絹のような手ざわりであることから、「晴れやかな魅力」という花言葉があります。ふしぎなことに、原種は一重で5枚の花びらでした。

花言葉
晴れやかな魅力、
光輝を放つ
(ピンク)かざらない美しさ

花言葉
気品、崇高、金運

ヤマブキ

- 🌿 分類：バラ科ヤマブキ属
- 🌍 原産：日本、中国
- 🔍 別名：ヤマブリ(山振)、オモカゲグサ(面影草)、カガミグサ(鏡草)
- 🕒 開花期：4～5月

色の名前にもなっているヤマブキの花言葉は、品のある美しい見た目からつけられました。古くは枝が風にゆれるようすから「山振り」とよばれ、それがヤマブキに変化したといわれています。また、春に山一面が黄色の花いっぱいになることを表す「山春黄」が由来とする説もあります。





秋

あき

キク

- 📌 分類：キク科キク属
- 🌍 原産：中国、東アジア
- 🔍 別名：ホシミグサ(星見草)、チヨミグサ(千代見草)、イエギク(家菊)、マム
- 📅 開花期：10～11月

日本では古くから、秋の花といえばキクを指しました。奈良時代に薬として中国から伝わり、のちに日本で品種改良が進んでからは、観賞用として楽しむようになり、和歌も多くよまれました。また、鎌倉時代の後鳥羽上皇以来の天皇家のシンボルでもあり、花言葉の「高貴」などはそれに由来します。サクラとならんで日本を代表する花です。



花言葉 高貴、高潔 (黄) やぶれた恋

コラム

「菊の節句」ともよばれる重陽の節句

9月9日は重陽の節句で、「菊の節句」ともいいます。中国にはキクの花をひたしたお酒を飲んで健康と長寿を願う風習があり、日本にも伝来しました。平安時代には宮中行事として定着します。



キバナコスモス

- 📌 分類：キク科コスモス属
- 🌍 原産：メキシコ
- 🔍 別名：イエローコスモス
- 📅 開花期：6～10月

キバナコスモスはコスモスの仲間で、黄色やオレンジ色の花をつけることから名づけられました。この花は夏の熱さに強いうえに、放っておいても種が落ちればかってに新しく生えて咲くほど生命力が強いのが特徴です。「野性的な美しさ」という花言葉も、キバナコスモスの強さや野性味に由来しています。



花言葉 野性的な美しさ

花言葉 謙虚、気高い人



キンモクセイ

- 📌 分類：モクセイ科モクセイ属
- 🌍 原産：中国
- 🔍 別名：モクセイカ(木犀花)、タンケイ(丹桂)
- 📅 開花期：9～10月

キンモクセイの独特の甘い香りがかぐと、秋を感じます。強い香りを放ちますが、花自体は小さくてひかえめなことから、「謙虚」という花言葉がそえられています。この花は雌雄異株といって、実をつける雌株と花粉をとばす雄株にわかれています。日本には雄株しか入ってこなかったため、実を見ることはほとんどありません。

花をおくってみよう

たんじょう日や母の日、父の日、クリスマスなど、記念日には花をおくってみませんか？
花をおくるときは、その花の花言葉を書いたカードをそえてもよいでしょう。

花束(ブーケ)

たくさんの花をたばね、同じくらいの長さになるように茎を切りそろえ、輪ゴムやひもでとめます。そして、好きな包装紙などでラッピングをします。

花をたばねるときは、右手(左利きの人は左手)で花を1本もち、もう一方の手にバトンをわたすようにします。そのとき、茎がまじわらないよう、まっすぐにそろえるのがポイントです。



コサージュ

コサージュは女性が身につける花かざりです。造花でつくるのがふつうですが、生花でもつくることができます。

バラやカーネーション、ガーベラなど、花びらに厚みがあって、長もちする花をつかうとよいでしょう。茎の切り口をぬらしたステムティッシュ(専用のティッシュペーパー)で巻くと長もちします。



寄せ植え

色どりよく花を集めた寄せ植えは、土に植えているので長く花を楽しめます。植木鉢やプランターだけでなく、ブリキ缶やバスケットなど、さまざまな形や素材のものをつかって、おしゃれな寄せ植えにしてもよいでしょう。



フラワーケーキ

まるでデコレーションケーキのような見た目のフラワーケーキは、たんじょう日や母の日のお祝いにぴったりです。

園芸用の給水スポンジを土台にして、花をさしてかざりつけます。お皿にのせたり、ケーキに使う箱に入れたりすれば、まるで本物のケーキのようです。



花をおくるときは花言葉に注意!

花をおくるときは、その花にどんな花言葉がつけられているか、事前に調べておきましょう。お祝いのつもりでおくった花に、不幸な意味をもつ花言葉がつけられていては、相手に失礼です。また、ユリのように、白い花は「純潔」をあらわしても、黄色い花は「いつわり」をあらわします。色のちがいについても注意しましょう。